

まちづくりワークショップを 開催しました

その2



総合計画策定に向けて開催している「まちづくりワークショップ」の第2回目を、9月12日に開催しました。

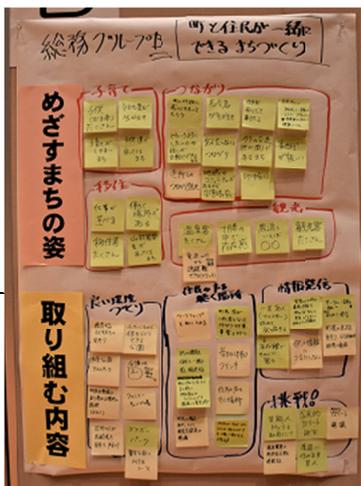
前回に引き続き「総務」「福祉」「経済」「教育」の4つの分野ごとに設定したテーマの中から選んでもらい、合計11グループに分かれて行いました。



めざすまちの姿	取り組む内容
<p><インフラ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信インフラ ・コンビニ ・然別湖までの道路 <p><産業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊拡充 ・演習地の活用（農業用地） ・酪農研究施設 <p><雇用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用場所 <p><住環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員待遇改善 ・都会と同じ環境が若者を呼ぶ ・最先端を取り入れたまちづくり <p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小中高どこでもOK（やる気があれば受け入れる） <p><高齢者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の楽しみが拡充 ・健康 ・勤労の場所、社会とのつながり→生きがい <p><医療></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生率がアップ 	<p><インフラ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯広まで高規格道路 ・IT環境 ・PFI活用 ・キャンプ場整備 <p><雇用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き手確保 ・積極的な外国人との交流 ・外国人労働者誘致促進 ・働く場所の確保 ・インターネット環境による雇用 ・PR（従業員） ・町の職安 <p><住環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員住宅の建設 <p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・【現状】管内大学少ない→大学誘致 ・看護コース→進学への連携 ・カナダ大学 ・高校生用下宿、寮の整備 ・スポーツ誘致 ・高校の教員レベルを活かす <p><高齢者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もみじの里の充実 ・病院、家族 <p><医療></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院 ・体制 ・質アップ <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の企画力アップ ・行政のハードルを下げる気持ちが大事 <p><交流></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンピングカーの人たちとの交流、魅力発見 ・ギョウザ、カレー企画、講習会など多様な催し <p><魅力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども室内運動場（みないるのような） ・子育て環境 ・映画誘致（土幌道路からの朝陽、大雪山、日高山脈のロケーション）



めざすまちの姿	取り組む内容
<p><子育て></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがたくさんいる（出生率が高い） ・子ども達が生き生き ・子育てがしやすいまち ・子ども達が戻ってくるまち <p><つながり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の行政に関心をもっている ・どういうまちにしたいのか話が気軽にできるまち ・高齢者が生き生き ・孤立しないつながりがある ・地域コミュニティがあり、災害時も安心 ・住民が安心して暮らせる ・タテの交流（世代間交流）があるまち ・異世代が親しい ・助け合いがあるまち <p><移住></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事を選べる ・働く場所がある ・移住者たくさん ・山村留学生が戻ってくるまち <p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客がたくさん ・温泉客がたくさん ・電波Wi-Fiから避難できる（メリット）（かんの温泉） ・十勝の中で存在感 ・鹿追といえば〇〇 <p><挑戦！></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民的アスリート誕生 	<p><つながり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所とのつながり強化 ・交流サロン（地域で活動している人にプチレッスン、保健師が同行して健康づくりも） ・近所の人が高齢者を見守り、声かけ <p><良い環境づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学する子どもたちの見守り ・小さい頃から体力づくりができる公園 ・防災公園アスレチック ・町民が気軽に立ち寄れる場所の提供（カフェ？） ・ファミリーキャンプ場 ・スケボーパーク ・農芸公園にMTB（マウンテンバイク）コース ・広い分譲地（かえで団地みたいな） <p><住民の声を聴く場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップを取り入れる ・まちの課題を住民と一緒に考え解決する ・町で何かを作ったりする時に、町民参加のワークショップを開催して意見を聞く ・町民の幅広い年代との意見交換会の開催 ・町民みんなが一枚岩となって行う行事、事業を行う ・参加しやすい雰囲気 ・住民の声を聴く場所 ・町民が気軽に何か参加できる場、機会をつくる <p><情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸名人（マイスター）を改めて発掘する→平成館でその人から習う ・災害などの時の道路情報を町のホームページなどで共有できるように（住民からの情報も） ・町道の状況を見守り、何かあれば役場へ連絡 ・個人情報にうるさくしない ・サークル活動の情報、個人の情報などをまとめて発信 <p><挑戦！></p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸人My's（マイズ）を紅白に！！ ・鹿追に住みます芸人 ・町内のアスリートの発掘 ・鹿追農業に関連する企業を誘致する



めざすまちの姿	取り組む内容
<p><環境設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所が確保されている ・公共施設の多くで充電できる <p><支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災用品が町内でそろえられる ・防災用品の購入補助がある ・耐震改修しやすいまち（補助） ・節水、節電にポイントが付与される <p><災害教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政区活動が強化されている ・防災訓練を自主的におこなっている ・町一斉避難訓練が行われている ・電気水道に対するエコへの意識が高まり、取り組みが進んでいる 	<p><意識(行動)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所の確認 ・防災マップを頭に入れておく ・普段から節水する ・電気を極力使わないライフスタイル <p><意識(モノ)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の確保 ・車に防寒グッズ、除雪用品、食糧を入れておく（雪害） ・防災用品を常備しておく ・手回し式ラジオを買っておく ・ソーラーパネルの設置 ・自家発電の設置 ・民間事業者に頼らなくてもある程度生活できる電力の確保 ・情報機器の確保 ・防災無線受信機を高齢者に配布 <p><コミュニケーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や母子家庭を助け合えるコミュニケーションづくり ・行政区での防災係をつくる ・行政区での防災訓練 ・近所付き合いを深める（誰が住んでいる？） <p><環境設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴風雪に対する防風林の整備 ・高齢者を集約した住居環境づくり <p><災害教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政区活動の強化 ・防災訓練を自主的にするような町の関与、きっかけづくり ・町一斉避難訓練 ・電気水道に対するエコへの取り組み、教室や研修の実施 ・学校で自然災害に関する教育を教える ・自然災害の連絡網の確立（災害状況） ・自然災害標語の募集、作成



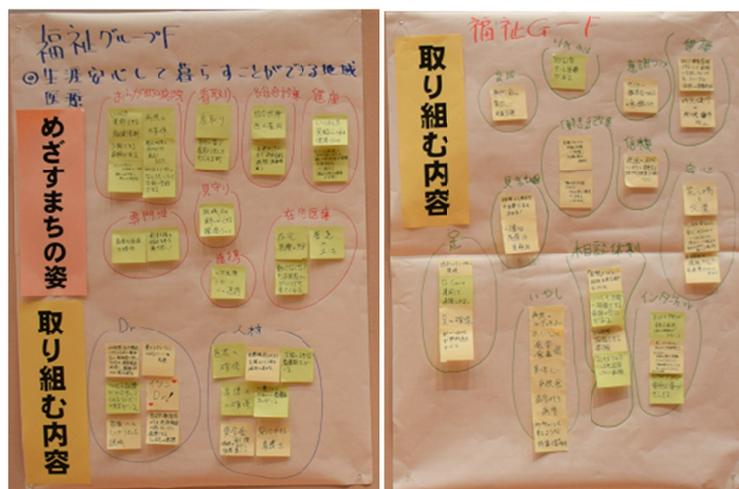
めざすまちの姿	取り組む内容
<p><居場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が元気 ・異世代交流 ・世代間交流ができる街 ・世代交流がある町 ・若者も高齢者も笑顔で暮らせるまち ・子どもが行き来して活気ある場（交流できる） ・子ども達と勉強する機会が多い ・学校と連携して生の「鹿追学」を伝えている ・気軽に行ける通いの場がある ・男性高齢者の集える環境（サロン）がある <p><医療・福祉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療サービス、医療施設が充実している ・医療が充実 ・高齢者が安心して受診できる病院の体制が整っているまち ・福祉が充実 ・介護サービスが充実している ・年金暮らしのお年寄りにやさしいまち（財政的に） ・この土地で最後まで暮らせる ・高齢者を受け入れてくれる施設の充実がされているまち ・家など住む場所が自分で決められる町 <p><生活></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に出かけられる ・運転ができなくなった時の交通手段があるまち ・交通手段が充実（車が運転できなくなっても） ・免許を返納しても行きたいところへ行ける ・公共交通機関の充実 ・小型バス（マイクロバス）の循環ルートが拡充 ・商店が身近にある ・買い物がしやすい街 ・週に1度の買い物ツアーがある（町内で） <p><生き生き></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活躍できる場がある ・経験値、特技（技能）が発揮できる場がある 	<p><居場所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局（町）からの提案→若者、高齢者両方へ ・ボランティア（若者）の高齢者へのやさしい対応 ・登下校時間に家の付近を散歩する（見守り交流） ・自宅訪問で交流。作業支援、指導を受けられるシステム ・子ども時代から高齢、介護、命を伝える活動 ・小中高との交流時間プログラムの策定 ・高齢者がこども園や小中学生の場へ、小中学生や幼児が高齢者の所へと交流機会を持つ ・平成館を世代間交流の中心地に！！ ・交流する場の提供。若者も高齢者も参加したくなるような場所 ・公民館を利用した茶話会をする ・サロン（場所）の設置（箱物は作らず、今ある場所で） <p><医療・福祉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合診療医的な医師を呼ぶ ・町立病院のお医者さんの確保 ・医療設備、施設の抜本的な見直し ・現福祉サービスの広報の拡大化 ・現医療・福祉サービスのヒアリング調査 ・公共料金を安くする（低所得者） ・自宅で医療が受けられると知る広報、実践活動 ・ひとり暮らしでも、寝たきりでも、介助する人やロボットが使える制度 <p><生活></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村からのバスを町の中でも走らせる ・循環バスルートの設置（検討から） ・タクシー、バスへの助成 ・地域ごとに「自宅～買い物～平成館（サロン）」を運行する交通ルートと曜日を設定 ・Uber（自動車配車ウェブサイトおよび配車アプリ）のようなシステムの導入（準公共またはボランティアでの） ・高齢者が移動しやすい道路や駐車場、商店入口の整備 ・高齢者を対象とした買い物割引 ・各町内会の拠点へ買い物バスを走らせる ・商店街との協力体制の構築 ・町バス（ワゴン車）を利用した買い物ルート <p><生き生き></p> <ul style="list-style-type: none"> ・退職者の雇用（指導者制度、教育係など）

めざすまちの姿	取り組む内容
<ul style="list-style-type: none"> ・現役で仕事ができる、続けられる ・特技を活かす場がある ・取り組むことが生涯ある ・生きがいを感じることでできる街 ・楽しみがある、持ち続けられる ・生涯にここに ・生涯学習、生涯スポーツの設備や機械が充実 ・大きな運動公園がある街 ・運動できる設備が充実（ゲートボール、パークゴルフは除く） <p><つながり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの高齢者が安心して住めるまち ・独居老人状態でも不安がない状況 ・独居老人でも安心して暮らせる町 ・ご近所さんでお互いに支え合いができる ・近隣者と顔が合わせられる ・日頃から声かけをし合える関係 ・災害の備えが整っている ・身の周りのことを手伝ってくれる組織がある ・孤独を感じない街 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAのOB会的な活動 ・人生“塾”のような、その道の経験者ならではの発表を聴ける場、機会づくり ・特技バンクで人材派遣 ・「軽スポーツ」「軽運動」を楽しめる場をつくる ・楽しむスポーツの普及 ・新しいスポーツ、開拓スポーツではなく全国から世代通して楽しめるスポーツを調査 ・町内に健康ランド ・運動できる施設へ来られない高齢者へ出張運動指導サービス ・大きな運動公園の設置（今ある公園の見直し、法律との兼ね合いも…） <p><つながり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会、行政区で月に1度の例会を実施 ・町内会の活性化（つながり強化） ・ひとり暮らしの高齢者が集まれるような企画 ・白寿大学、老人クラブ、パークゴルフ、ゲートボール、お寺、神社など高齢者が集う場所との連携（ヒアリング調査） ・全世帯に情報端末（使用したかも知ることができる） ・バリアフリー施設のマップ化 ・“しかおいマップ”の作成（食ベログのように、どこどこには〇〇がある、今日△△で■■がある！！が一目で分かるシステム）



めざすまちの姿	取り組む内容
<p><おらが町の病院></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも受診できる病院体制 ・いつでも気軽に相談できる病院窓口がある ・入院できる病院がある ・「おらが町のお医者さん」的な親しみやすい感じの病院 ・病院の確保 ・帯広や音更に行かなくても鹿追で大丈夫 ・町外まで行かなくてもいろいろな科を受診できる ・安心できる看護師がいる ・注射の上手な看護師さんかいる ・心癒されるかわいい看護師さんがいる ・リハビリ訓練について歩いてくれるリハビリの先生がいる ・通院しやすい ・待ち時間が少ない ・ドライブスルーで薬がもらえる <p><総合診療></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合診療医がいる ・子どもから大人まで受診できる病院(医療機関) <p><専門性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な医療を提供 ・発達支援を相談できる専門家! <p><連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次医療、三次医療との連携 <p><在宅医療></p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療の充実 ・普通の生活 ・動けなくなっても、お医者さんがいつでも来てくれる <p><見守り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での見守りができる環境づくり <p><看取り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・看取り ・自分の家で看取りをしてもらえる町 <p><健康></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつまでも笑顔でいられる健康づくり ・なるべく病院にかからないように自分にあった生活習慣を身に付け、心がけることができる 	<p><Dr.、体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間死亡確認してもらえるDr.の確保。Dr.の給料を最小限にするため、携帯電話を所持してもらい稼働時のみ給料が発生するようにする ・リハビリ訓練について歩いてくれるリハビリの先生の確保 ・イケメンDr.! ・薬が必要ないなら飲まなくてよい診療 ・家族へのしっかりとした説明 ・総合診療維持のため、他科転院の時にスムーズに連携できるDr.相互の連携 ・総合診療医の雇用 ・巡回型チーム医療 ・ドライブスルー薬局 <p><足></p> <ul style="list-style-type: none"> ・足の確保 ・送迎してもらいやすい環境 ・Dr. Carの運用 ・自宅から病院まで無料送迎サービス <p><人材></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医者の確保 ・医療機関に対する支援をして人材の確保を進める ・看護師の確保 ・医者や看護師、保育士などに対する奨学金制度 <p><健康></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にあった生活習慣を教えてもらえる環境づくり <p><育成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家の育成(発達支援) <p><意識づけ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー、講習会などでの意識づけ <p><信頼></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿追の病院に行く機会を増やす(健康診断など) <p><安心></p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑う場を設置 ・心は不安なので、安心おだやかでいられるように、話を聞いてくれる人や受け入れられる場所を確保する ・おすすめの保険を知ることができるようにする(医療費がかかってしまうので) <p><健康></p>

めざすまちの姿	取り組む内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で健康管理できることで病院を受診しなくても良いようにする（病院の経費削減） ・特定健診の受診率向上 <p><働き方改革></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療スタッフの待遇改善（保障）住環境や給料 ・休日等が確保できる人員体制 <p><見極め></p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続する鹿追型の医療方法を定める！ ・必要な医療の見極め <p><癒し></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院のコーディネーター ・おいしい食堂、食事 ・美味しい病院食 ・温泉付き病室 ・他町からも来るような特異性の確保 <p><相談体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「病院」ではない相談できる場所をつくる ・24時間相談できる病院 ・子どもを連れていっても退屈しない病院 <p><インターネット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットで予約ができる ・若いお母さん向けの相談窓口としてネットを活用する（例えば子ども急な発熱にメールやLINEでアドバイスをすることができる）



めざすまちの姿	取り組む内容
<p><経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・儲かる農業（収入がある、後継者がいる） ・農家経済が豊か（雇用環境の整備、選ばれる職場） ・従業員が結婚や子どもを持つ事ができる（収入が安定） ・農業経営が安定 ・労働環境が整備されている（時間、条件など） <p><心></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金よりやりがいを持てる農業 <p><環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の住む場所（家）がある（きれいな家） ・バイオセンターや野菜センターなど管理棟 ・生活や教育に不自由しない ・働きやすい環境づくり ・活気のある町づくり（住みやすい町） ・活気のある“マチ”、住みたい！！マチ（農業ならず商工業も・・・） <p><挑戦></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ体制の多様性がある町 ・新規就農者が土地を持てる 	<p><経済></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型化、効率化に対応したアウトソーシング支援策の充実 ・農業経営に関するコンサルタント業者等の講習会など ・法人化、労働環境の整備 ・後継者のためにより実践的な経営者の勉強会（やる気のある人向け） ・太陽エネルギーの有効活用と床土作り（火山灰）、有機質多施 ・バイオセンターを活用した野菜づくり（費用を少なくし大量に生産するために） ・外部講師を呼ぶ <p><心></p> <ul style="list-style-type: none"> ・【現状】知識不足で教える側の準備が整っていない（来る方も知らないことが多すぎて大変） ・他町村等に鹿追町をアピールし人を確保 ・農業の良さを伝える ・農業と消費者をつなぐ体験会 ・町と事業者と連携し、鹿追町の魅力の発信 ・外部講師を呼ぶ（重複） <p><環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・【現状】受ける側の対応不足（約束事などきちんと紙面など文章化できていない） ・生産者と商工の連携で特産品を（加工利用） ・農業を支える人材確保。冬期間の作業づくり（畑作） ・定期昇給なども考えていく ・地域交流 ・コミュニティづくりのバックアップ（自然発生時が一番良いのでその時にどれだけサポートしてもらえるか）施設見学など資金面も ・勉強会などの定期開催（その時に働いてみてのフィードバック） ・雇用保険、社会保険など福利厚生の完備 ・住宅環境 ・住環境整備 ・住宅等の確保対策を町として行う ・地元利用 ・町民全体が鹿追町を守ることを考え、商工を積極的に利用する <p><挑戦></p> <ul style="list-style-type: none"> ・【現状】内地から来る方のほとんどが就職できなくてもとりあえずやってみたいとやってくる ・農家ごとにめざす未来を明確にする ・新規就農者の受け入れ、もしくは研修制度の強化（より専門的なこと）



めざすまちの姿	取り組む内容
<p><活性化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業が更に活性化している ・従業員の技術が向上している ・地域循環型の農業が行われている <p><支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員が職場に残っている ・1年を通して働ける町 ・従業員が安定した職についている <p><後継者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが親を見てカッコいい！と思う農業者が多い ・家族で農家に勤められる町 ・男性従業員が家庭を持てる町 ・嫁に行かなくても生活できる <p><外国人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人もゆたかに働ける町 <p><インフラ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかに温泉の銭湯がある 	<p><新規就農、活性化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農窓口、支援団体をつくる（農機具の技術を伝えるなど） ・専門技術者の育成 ・お金の支援 ・北海道へのあこがれをうまくキャッチ！！ ・鹿追の知名度をあげる ・宣伝（地域ブランド力のある作物、鹿追自体の知名度） ・地域の作物のブランド化 ・新規乳農は増やす必要があるのか <p><支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯で住める従業員住宅の整備 ・農業従業員バイト学生→観光とのタイアップ（バイトもできるし遊べるよ） ・農業従業者の冬の仕事の確保 ・老後の心配の解消（移動手段、公共交通） ・（バイトの子が宿泊する）宿泊施設の充実 ・商工従業員と農業従業員をつなぐ取り組み、短期バイト ・ピンポイントの短期バイト <p><仲間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員と経営者、人とのつながり充実 ・従業員が町外に行かない取り組み→従業員グループの集まりをつくる ・外からも人を集める、町外に流出させない仲間づくり <p><外国人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人労働者の移動手段 <p><インフラ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コインランドリー（あってよかったね） ・道路整備



めざすまちの姿	取り組む内容
<p><店舗></p> <ul style="list-style-type: none"> ・そばの乾麺工場がある ・そばを中心とした観光が増し、観光業がさらに発展 ・そばの町として他地域から観光客が来る ・そばの作付面積が増えて、加工業者が増える ・鹿追町名物ジャガイモ、カボチャと一緒に町外に販売。特に本州に販売 ・鹿追ソバを町外で販売 ・そばの店が増える ・現在1店舗→10年後10店舗となり鹿追ソバの町になる <p><人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・そば収穫のコントラが発展→労働人口の増加 ・そば工場ができ、労働力が流入し人口が増加 ・そば屋さんが増えて観光客が増える ・観光客が増えて町が整備され良くなる ・そばに興味がある人が町に住み、人口が増える <p><特産品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿追町産というブランド化 ・まぼろしのそば→有数のそば産地へ ・そばを使った特産品が作られる ・有名そば処と交流→新たな産業作物の育成 ・養蜂農家が増え、ハチミツの生産量が増える <p><健康></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年越ソバを町民に喜んで食べてもらえる ・鹿追町も高齢化。鹿追ソバを食べて長生きしてもらう ・家庭菜園で気軽にそばを作ることができる <p><環境></p> <ul style="list-style-type: none"> ・そばを作るのに大切な水をキレイにすることを考えるようになる <p><まちづくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・そばが関係するイベントが増える ・そば打ちを高校の授業で行うようになる ・そばのキャラクターなどができて、盛り上がる 	<p><店舗、工場></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の空き家を活用してそば屋にする ・そば屋さんを増やすために街中の店舗を改装 ・そば屋の企業に対して財政的な支援 ・店舗を出すための融資を安くし借りをやすくする ・店舗建設の支援など ・そば加工場建設の補助 ・そば生産加工工場をつくり、働く人を募集する <p><人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家で働く人を積極的に支援する(賃金、労働条件など) ・そば収穫の人材育成 <p><生産></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作付面積を増やす事業をつくる ・作付面積を増やすため、収穫作業支援を行う ・そばの新品種育成への協力 <p><特産品></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこに出しても喜ばれる(おいしい、最高の味)鹿追ソバを作る ・特産品を作る ・そばブランドマークをつくる <p><PR、情報発信></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット等でPR ・インターネットで鹿追ソバのPRを積極的に行う ・商工会や会員が連携して鹿追ソバのPR、販売を行う ・特産品コンテストなどを行って他町にPRし鹿追町を知ってもらう <p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客を増やす ・そば祭りの大型化(新得とコラボ!) <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・そばに関する助成をする ・そば消費を拡大するためのそば券を発行 ・養蜂農家を支援するために、安価で土地を提供する ・気軽に家庭菜園ができるように栽培技術講習を開催 ・鹿追高校にそばに関する授業を導入する ・鹿追駐屯地の隊員にPR(お盆正月)。ふる里に帰る時にお土産に買ってもらう



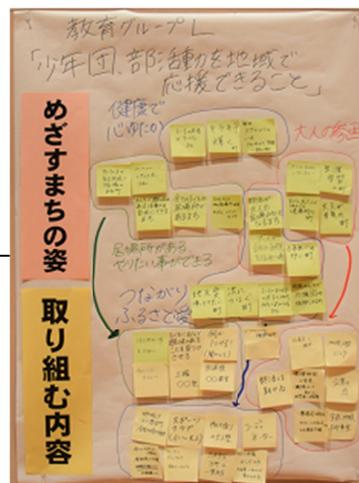
総務Jグループ 少年団、部活動を地域で応援できること
 教員の働き方改革（先生の役割とは）

めざすまちの姿	取り組む内容
<p>＜人として信頼される教師！＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間として、教師として ・昔の先生 ・熱血先生 ・子どもの事をしっかり考える先生 ・先生への期待は大きい 	<p>＜いかに地域や保護者に信頼されるか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生への信頼感 ・親のバックアップ（先生を否定しない） ・保護者が協力する機運 ・保護者の理解 ・量→質 ・働く量（時間）ではなく、働き方の質の問題 ・学校への協力 ・学校の役員 ・子どもと先生が友だち感覚に→尊敬されていない？ ・少年団 子ども～先生と信頼する機会に ・子どもたちと仲良くする教え方、こどもたちに厳しくする教え方 ・スポーツを好きになってもらうために優しく指導←先生のやり方に口出ししない ・町の少年団 友だちづくり ・少年団 ボランティア程度の支払い ・中体連 スケート 十勝→帯広に集合。指導員も十勝で集めている ・町として方向性を決めて企業に協力しては

教育Kグループ 教員の働き方改革（先生の役割とは）

めざすまちの姿	取り組む内容
<p><幼小中高の連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼～高の教職員が一体となっている（共通認識） ・幼～高一貫教育、先生の連携が図られている ・中高の部活が一緒に行われている <p><より密接な子どもとの関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の得意なことが活かせる ・子どもとのふれあいの時間 ・1人で40人みなくてもいい <p><制度の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校にずっといなくていい ・有給がとりやすい <p><適正な仕事量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生が自分の子どもとの時間をしっかり持てる ・仕事とプライベートは別々に ・先生の負担が今より少ない ・部活動の負担が少ない <p><地域の理解></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校がオープンになっている（見える化） ・親が文句を言わない ・みんなが先生を尊敬している 	<p><学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育関連団体の集約（多すぎない？）スリム化 ・補助教員（支援者）の増員 ・宿題やテストの採点係の雇用 ・先生が来なくなる町に（志？） ・1つのことを複数の先生が共有できる仕組み（先生相互の連携） ・教科担任制 ・道徳教育の充実 ・学力だけでなく人間力、社会性の向上を図る ・長期休暇の取得義務化（交替制） ・教員との話し合い ・昼の学校内への協力 <p><制度の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿追独自で〇〇手当を支給 ・産休の先生の欠員対策（年度替わりにしてほしい） <p><適正な仕事量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生、学校へのサポート ・学校の問題をPTAや教育委員会で協力し合って解決する ・先生としての仕事とプライベートの明確化 ・教員OBの支援（現任教員の負担軽減） ・先生方の仕事の見直し（部活のコーチ委託など） <p><地域></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が先生に協力する ・先生も地域に出る余裕を持てるよう支える（心、時間） ・先生がやらなくていい仕事をリストアップ→地域でやる！ ・教員との話し合い（重複） ・昼の学校内への協力（重複） ・夜の（帰宅後の）、放課後の教育への協力 ・地域の人も子ども達に良い影響を（校外クラブとか） ・地域塾？
	<p><家庭></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育をもっと（しつけ、読書） ・保護者が先生を尊敬し子どもに伝える ・親の意識改革、理解 ・親向けに社会教育→学校が言いにくいことを代わりに言っあける

めざすまちの姿	取り組む内容
<p><健康で心豊か></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの表情がすてきなまち ・キラキラ輝く町 ・毎日リフレッシュ。いつもさわやか笑顔一杯の町 ・リフレッシュを奨励する町 <p><居場所がある、やりたい事ができる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての子が自己実現できる場のある町 ・やってみたい！！と思える楽しい活動 ・子どもが興味のある活動を自由にできるまち ・全ての子どもの居場所があるまち ・子どもも大人も心地よい居場所がある町 ・きらきら、うきうきする町 <p><大人の参画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人も子どももいきいきと！！ ・生涯学習の町 ・子から老人まで体も心も健康的な町 ・大人が本気の町 ・部活が大人の居場所にもなるまち ・大人が自分の子どもたちを指導できる町 ・ふれあいの多い町 <p><つながり、ふるさと愛></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元愛がある町 ・帰ってきたい町 ・次につなぐ町 ・子どものがんばりの様子を地域住民が認められる町 ・町民みんなが応援団の町、後押しする町 ・部活が大人の居場所にもなるまち(重複) ・大人が自分の子どもたちを指導できる町(重複) ・ふれあいの多い町(重複) 	<p><居場所がある、やりたい事ができる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの一步を大切に ・チャレンジメニュー ・子どもに興味のあることを自分で見つけさせる ・何かひとつやる！（聞きとり） ・土曜〇〇塾 ・放課後〇〇教室 <p><大人の参画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の確保 ・地域人材バンク ・部活は朝やる ・勤務時間の変更（職種によって変わる）経営者への理解 ・企業の力 ・夢基金の設立。やりたいことをバックアップする資金応援 ・学校地域本部事業 <p><つながり、ふるさと愛></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域をこえて鹿追町全体の取り組み ・全てのスポーツ活動を全町民で応援。町民応援シャツ。応援族づくり ・スポーツクラブ（子ども～大人） ・サークル活動、ボランティア活動をつなげる ・働き盛りの大人塾 ・コーディネーター ・生涯学習分野の一貫教育



ワークショップは合計4回予定しており、第3回目は11月13日に開催します。
 まとめた結果については、役場内で計画策定を協議する各種会議の資料として活用し、
 新しい計画にできる限り反映していくこととします。